

5

民保の解約・失効の状況

解約・失効の経験率とは

平成27年から本調査実施時点までの期間において、民保の生命保険の解約・失効を経験したことのある世帯数を、全回答世帯数で除した割合のことをいう。なお、解約・失効のなかには、払済保険、延長定期保険、転換制度（下取り制度）の利用を含めない。

民間生命保険の解約・失効について、過去3年間の解約・失効の経験率、解約・失効までの継続期間、解約・失効理由などを尋ねている。

（1）解約・失効の経験

平成27年からの3年間における民保（かんぽ生命を除く）の解約・失効の経験率は9.2%（前回11.2%）となっている。

時系列でみると、解約・失効の経験率は平成18年調査から減少傾向が続いている。（図表 I - 151）

〈図表 I - 151〉 解約・失効経験率

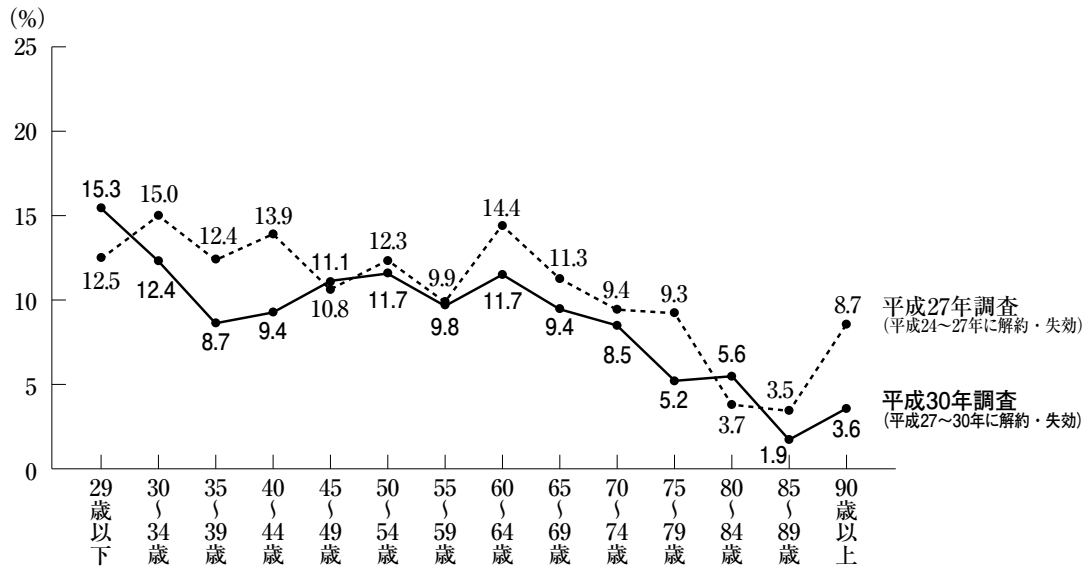
(%)

	あ り	あ り			な し	不明
		1 件	2 件	3 件以上		
平成30年調査 (平成27～30年に解約・失効)	9.2	6.9	1.7	0.7	86.8	4.0
平成27年調査 (平成24～27年に解約・失効)	11.2	7.6	2.6	1.0	87.2	1.6
平成24年調査 (平成21～24年に解約・失効)	12.4	9.1	2.3	1.0	86.3	1.3
平成21年調査 (平成18～21年に解約・失効)	13.2	9.2	2.7	1.3	85.1	1.8
平成18年調査 (平成15～18年に解約・失効)	13.4	9.4	2.7	1.3	85.8	0.8

* かんぽ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「85～89歳」で1.9%と最も低くなっている。(図表 I - 152)

〈図表 I - 152〉 解約・失効経験率（世帯主年齢別）－経験ありの割合－



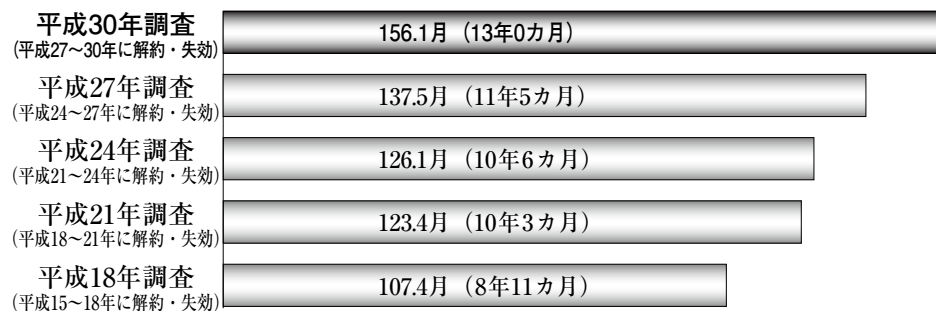
* かんぽ生命を除く
* 90歳以上はサンプルが30未満

(2) 解約・失効までの継続期間

平成27年からの3年間における民保（かんぽ生命を除く）の解約・失効までの継続期間は13年0カ月となっている。

時系列でみると、平成18年調査（8年11カ月）以降、解約・失効までの期間が長期化している。(図表 I - 153)

〈図表 I - 153〉 解約・失効までの継続期間



* かんぽ生命を除く

(3) 解約・失効契約の加入者（被保険者）

平成27年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その加入者をみると、「世帯主」65.9%（前回64.8%）、「配偶者」22.3%（前回21.9%）、「子ども（計）」9.0%（前回11.5%）となっている。（図表I-154）

〈図表I-154〉 解約・失効契約の加入者（被保険者）

(%)

	世帯主	配偶者	子ども (計)	子ども (未婚で 就学前・ 就学中)	子ども (未婚で 就学 終了)	子ども (既婚)・ 子どもの 配偶者	その他	不明
平成30年調査 (平成27～30年に解約・失効)	65.9	22.3	9.0	2.2	4.6	2.2	2.5	0.3
平成27年調査 (平成24～27年に解約・失効)	64.8	21.9	11.5	4.0	5.8	1.8	1.5	0.2
平成24年調査 (平成21～24年に解約・失効)	59.6	23.7	13.9	6.0	5.6	2.4	2.4	0.4
平成21年調査 (平成18～21年に解約・失効)	60.9	24.9	11.8	3.9	5.8	2.1	2.1	0.4
平成18年調査 (平成15～18年に解約・失効)	62.8	21.3	13.7	5.3	6.0	2.4	1.6	0.5

* かんぽ生命を除く

(4) 解約・失効契約の加入目的

平成27年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が59.9%（前回57.7%）と最も多くなっている。次いで「万一のときの家族の生活保障のため」45.2%（前回45.6%）、「万一のときの葬式代のため」13.4%（前回8.4%）の順となっている。

前回と比較すると、「万一のときの葬式代のため」が5.0ポイント増加している。（図表 I - 155）

〈図表 I - 155〉 解約・失効契約の加入目的（複数回答）

(%)

	医療費や入院費のため	万一のときの家族の生活保障のため	万一のときの葬式代のため	災害・交通事故などにそなえて	老後の生活資金のため	子どもの教育・結婚資金のため	貯蓄のため	万一のときのローン等の返済のため	介護費用のため	財産づくりのため	税金が安くなるので	相続および相続税の支払を考慮して	土地・家屋の取得・増改築のため	その他	不明
平成30年調査 (平成27~30年に解約・失効)	59.9	45.2	13.4	9.0	7.1	5.4	5.4	3.0	2.2	1.6	1.4	0.5	0.3	3.0	0.3
平成27年調査 (平成24~27年に解約・失効)	57.7	45.6	8.4	8.0	7.5	6.4	8.0	2.9	2.2	1.3	2.9	0.4	0.2	5.1	1.3
平成24年調査 (平成21~24年に解約・失効)	55.6	46.6	7.8	9.6	6.8	10.6	5.6	2.8	2.0	2.0	1.6	0.2	0.6	3.6	0.4
平成21年調査 (平成18~21年に解約・失効)	49.1	52.6	8.8	10.3	7.9	9.0	6.2	2.4	2.1	0.7	0.7	0.9	0.4	4.9	0.4
平成18年調査 (平成15~18年に解約・失効)	44.8	46.6	6.4	11.7	8.7	9.7	8.6	4.7	0.5	1.8	2.2	0.0	0.9	6.6	0.5

*かんぽ生命を除く

(5) 解約・失効契約の解約返戻金の使途

平成27年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その契約で受け取った解約返戻金（払戻金）の使途をみると、「生活費にあてた」が24.8%（前回35.2%）と最も多くなっている。次いで「預貯金に預け替えた」21.5%（前回16.6%）、「他の生命保険の掛金にあてた」15.8%（前回15.7%）の順となっている。

前回と比較すると、「生活費にあてた」が10.4ポイント減少している。

なお、「解約返戻金はなかった」は平成21年調査以降増加傾向が続いており、平成30年調査では25.6%と、初めて他の使途より多くなっている。（図表 I - 156）

〈図表 I - 156〉 解約・失効契約の解約返戻金の使途（複数回答）

	生活費にあてた	預貯金に預け替えた	他の生命保険の掛金にあてた	現金で保有した	自動車や家電製品等耐久消費財の購入にあてた	住宅ローン等の返済にあてた	損害保険商品や株式、投資信託、公社債等に預け替えた	その他	解約返戻金はなかった	不明
平成30年調査 (平成27～30年に解約・失効)	24.8	21.5	15.8	6.5	4.4	3.8	1.1	6.3	25.6	1.9
平成27年調査 (平成24～27年に解約・失効)	35.2	16.6	15.7	6.4	4.2	2.9	1.1	5.1	21.9	1.8
平成24年調査 (平成21～24年に解約・失効)	32.3	21.1	15.9	5.4	4.8	4.8	1.6	4.0	19.5	1.8
平成21年調査 (平成18～21年に解約・失効)	36.3	22.5	13.9	6.4	5.8	6.2	2.1	5.6	14.6	1.1
平成18年調査 (平成15～18年に解約・失効)	37.3	23.3	12.6	6.7	4.6	5.6	1.6	5.8	14.6	0.7

*かんぽ生命を除く

(6) 解約・失効の理由

平成27年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した理由をみると、「他の生命保険に切り替えたので」が33.0%（前回31.4%）と最も多くなっている。次いで「掛金を支払う余裕がなくなったから」31.9%（前回33.6%）、「掛金が更新により高くなってしまったから」14.4%（前回13.1%）の順となっている。（図表I-157）

〈図表I-157〉 解約・失効の理由（複数回答）

	他の生命保険に切り替えたので	掛金を支払う余裕がなくなったから	掛金が更新により高くなってしまったから	まとまったお金が必要となってしまったから	義理で入ったものなので	高額な保障が必要なくなったから	期間が長すぎるのでいやになった	少額すぎて生命保険として役に立たない	イメージしていた商品内容と異なるため	離婚や子どもの独立など家族の構成が変わったから	加入後のアフターサービスが不満だった	他に有利な貯蓄手段があったので	生命保険はインフレに対応できないと考える	経営内容が不安だった	その他	不明
平成30年調査 (平成27～30年に解約・失効)	33.0	31.9	14.4	11.2	10.4	7.6	3.3	3.0	3.0	3.0	2.7	1.9	0.8	0.8	10.4	1.9
平成27年調査 (平成24～27年に解約・失効)	31.4	33.6	13.1	8.0	7.7	6.0	0.9	3.3	2.0	3.3	3.3	2.0	0.0	1.8	7.7	2.4
平成24年調査 (平成21～24年に解約・失効)	34.1	32.5	13.3	10.6	11.4	7.4	3.6	3.0	2.4	1.6	4.4	1.2	0.6	2.0	7.4	2.0
平成21年調査 (平成18～21年に解約・失効)	25.3	37.6	12.0	13.9	13.7	5.6	4.7	1.9	2.8	2.6	4.1	1.7	1.5	2.2	9.7	1.5
平成18年調査 (平成15～18年に解約・失効)	29.5	37.0	7.1	14.0	14.2	7.3	3.6	2.7	2.7	2.6	4.4	2.4	1.1	1.5	6.7	1.6

* かんぽ生命を除く

(7) 切り替えた理由

平成27年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した主な理由として「他の生命保険に切り替えたので」と回答した世帯に、切り替えた理由を尋ねたところ、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから」が60.3%（前回59.2%）と最も多くなっている。次いで「掛金が安かったから」35.5%（前回39.4%）、「保障の範囲が広がったから」28.9%（前回23.9%）の順となっている。（図表 I - 158）

〈図表 I - 158〉 切り替えた理由（複数回答）

	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから	掛金が安かったから	保障の範囲が広がったから	営業職員や代理店の人の説明が優れていたから	営業職員や代理店の人が縁故者・知人だったから	加入者へのサービスが良さそうだったから	配当金が多そうだったから	営業職員や代理店の人が熱心だったから	会社（生命保険会社、郵便局、JA等）の経営内容が良かったから	仕事上のつきあいや取引で頼まれたから	その他	不明
平成30年調査 (平成27～30年に解約・失効)	60.3	35.5	28.9	9.1	8.3	3.3	2.5	2.5	1.7	1.7	6.6	0.0
平成27年調査 (平成24～27年に解約・失効)	59.2	39.4	23.9	7.0	13.4	2.8	3.5	5.6	2.1	1.4	7.0	0.7
平成24年調査 (平成21～24年に解約・失効)	70.2	36.3	19.3	5.8	11.1	7.0	4.7	5.3	2.3	3.5	5.3	0.0
平成21年調査 (平成18～21年に解約・失効)	59.3	37.0	19.3	5.9	10.4	3.0	3.7	9.6	4.4	3.0	6.7	2.2

* かんぽ生命を除く